

広報

みやこ

2006



5

新町「みやこ町」の舵取り選ばれる。

ホームページアドレス <http://www.town.miyako.lg.jp/>
E-mailアドレス miyako@town.miyako.lg.jp

ごあいさつ



多くの皆様の温かいご支援を頂き、4月23日をもってみやこ町長に就任いたしました白石春夫でございます。

私は、平成9年に旧犀川町長に就任して以来2期7か月、旧犀川のまちづくりに関わり、町の代表者として、あるいは舵取り役として、最大限の力を傾注していく所存です。

さて、少子高齢化や環境問題など、急速に変化する社会・経済情勢に適切に対応し、将来にわたって住民の生命・財産を守りながら、一層の福祉の向上を

図り、豊かで住みやすい地域社会を創ることは自治体としての責務であります。更に、地方分権の受け皿づくりと確固たる行政基盤の確立はまさに時代の要請であります。

こうした課題に即応するまちづくりを目指して「みやこ町」は誕生しました。

ところで、旧犀川、勝山、豊津の3町は、古くから経済、文化、生活などさまざまな面で一体となつて発展してきた地域です。これまでも広域行政など、さまざまな分野で連携を図りながら地域の課題に取り組んで参

りました。みやこ町では、これまで築いてきた地域の連携を更に大きな輪に広げていかなければなりません。

今後の方針

合併して間もない「みやこ町」ですが、ここ数年がこの町の将来を決める大切な時期です。町政を進めるにあたって、町長と対話していきたいのが、皆様との対話であります。住民の皆様との立場に立ち、同じ視線で、皆様と対話をしながら、町職員ともども一歩ずつ着実に町政を進めて参りたいと思っております。

時代は、まさに大転換期。時代の変化に対応した住民主体のまちづくりが求められております。これからの町政は透明で公平なものでなければなりません。今後、どのようなまちづくりを目指していくべきか、あるいは、さまざまな課題に取り組む際に基本的な考え方や方向性などについて共通認識を持ち、更に住民の皆様にご理解頂くよう努力いたします。

また、町の発展と地域住民の幸せにつながるようなまちづくりのために、既存の制度や仕組みを改めて見直し、住民の皆様

への十分な情報提供に努めながら、明るく開かれた町政運営に努めたいと考えております。

結びに、みやこ町の一層の発展と明日の輝かしい郷土づくりのために、私のすべての情熱を町政の推進に捧げる覚悟であり、住民の皆様の一層のご支援とご協力を心からお願ひ申し上げます。みやこ町長就任にあたってのごあいさついたします。



初登庁 4月25日

4月23日、投開票が行われたみやこ町長選挙で、当選を果たした白石春夫みやこ町長が初登庁しました。

みやこ町の舵取り役として、町民のみなさんに向けたメッセージをお願いしました。

みやこ町長選開票結果 (敬称略)

当	8,199	白石春夫
	5,617	上田重光
	196	秀南友子
投票率	74.45%	

平成18年度「みやこ町高齢者学級」に参加しませんか

「心も体もいつまでも若々しく……」と旧3町で実施していた高齢者学級は、そのまま各地区で引き続き実施します。60歳以上の方ならどなたでも参加できます。知的で健康な生活を送るために、多くの方の参加をお待ちしています。

お申し込みとお問い合わせ先

教育委員会 生涯学習課 ☎32-5535

【旧犀川町】

教室名	開講式と講演日程	開設場所
犀川地区ふれあい大学	6月13日(火) 10時～12時30分まで	みやこ町中央公民館 (旧犀川中央公民館)
城井地区さわやか大学	6月20日(火) 10時～12時30分まで	みやこ町役場城井出張所 (旧城井地区学習等供用施設)
伊良原地区ふれあい大学	6月27日(火) 10時～12時30分まで	みやこ町伊良原地区集会所 (ふるさと会館)

開講講演 講師 大友幸子さん(直方市光福寺 坊主)

10時50分～12時30分まで

◎年間の計画については、各運営委員会で協議し、開講式当日にお知らせします。

◎18年度に登録される方は、各地区の世話人をお願いします。

【旧勝山町】

勝山たちばな大学

日時	標 題	内 容	講 師
6月1日(木) 13時30分～16時まで	開講式(歴史民俗博物館) 豊津の名所を探訪しよう	歴史民俗博物館、三重塔、思永館など見学	川本英紀 (みやこ町生涯学習課文化係長)
7月4日(火) 10時30分～15時まで	お弁当を持って、犀川の名所を探訪しよう	永沼家住宅、蛇淵の滝、生立八幡宮など見学	木村達美 (みやこ町歴史民俗博物館学芸員)
8月	未 定		
9月12日(火) 13時30分～16時まで	陶芸講座 (ゆいの郷陶芸館)		安武良二さん
10月10日(火) 13時30分～16時まで	陶芸講座 (ゆいの郷陶芸館)		安武良二さん
11月7日(火) 13時30分～15時30分	陶芸講座 (ゆいの郷陶芸館)		安武良二さん

◎年間計画はまだ完成していませんが、少なくとも月1回の講座を計画しています。

◎日程については、送迎バスの運行予定とともにその都度、手紙でお知らせします。

◎17年度に登録されていた方は改めて申し込みする必要はありません。

【旧豊津町】

豊津平成学級

日 時	演 題	講 師	開 設 場 所
6月15日(木) 10時～12時まで	改定介護保険について	北九州介護保険認定審査会 副会長 松口 賢三さん	みやこ町豊津公民館

◎年間計画はまだ完成していませんが、月1回の講座を計画しています。

◎昨年度と同様に、送迎バスの運行を予定しています。

◎17年度に登録されていた方は改めて申し込みする必要はありません。



③編物教室(10人)

講師 日本編物協会 小原昌子さん

開講式 6月6日(火)

日時 第2・4火曜日

10時～12時まで

場所 サン・グレートみやこ2階研修室

②書道習字(15人)

講師 日本書道 佐藤正巳さん

開講式 6月3日(土)

日時 第1・3土曜日

14時～16時まで

場所 サン・グレートみやこ

1階研修室

①フラワーアレンジメント教室(10人)

講師 日本フラワーデザイン 田中眉登さん

開講式 6月3日(土)

日時 第1・3土曜日

10時～12時まで

場所 サン・グレートみやこ

2階工作室

④ヨガ教室(30人)

講師 整体ヨガ 恒富江津さん

開講式 6月6日(火)

日時 第1・3火曜日 14時～16時まで

場所 みやこ町豊津公民館

⑤エアロビクス教室(15人)

講師 フィットネスアドバイザー 松岡久代さん

開講式 6月16日(金)

日時 金曜日(月4回) 13時～14時まで

場所 みやこ町豊津体育館

⑥薬草教室(30人)

講師 九州薬草趣味の会 理事 平田真知子さん

開講式 6月15日(木)

日時 月1回 10時～12時まで

場所 サン・グレートみやこ2階研修室

⑦パソコン教室(3コース各15人)

講師 児倉 弥さん

日時 初心者 6月5日から9回

ワード 7月3日から9回

エクセル 8月7日から6回

3コースとも、月・水・金曜日

19時～21時まで

場所 みやこ町豊津公民館

⑧絵画教室(10人)

講師 全日本美術協会 白石 修さん

開講式 6月19日(月)

日時 第1・3月曜日 19時～21時まで

場所 サン・グレートみやこ2階工作室

⑨人権教室(20人)

講師 渡邊律吉さん

開講式 6月6日(火)

日時 第1・3火曜日 13時30分～16時まで

場所 みやこ町豊津公民館

平成18年度 みやこ町文化・ 健康講座のご案内

誰でも、生き生きと、自分らしく生きがいのある人生を送りたいものです。教育委員会生涯学習課では、このためのお手伝いが少しでもできるよう以下の文化・健康講座を予定しています。あなたもあなたの進み道をあなたらしく割りだしてみませんか？

◎対象は町内在住もしくは在勤の方のみです。

◎受講料は無料ですが、実習材料などは自己負担です。

◎お申し込みは、5月19日(金)までです。

※定員になり次第、その講座の受付を締め切ります。応募者が少数の場合は、講座を中止しますので、あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先

みやこ町総合文化センター「サン・グレートみやこ」内
教育委員会 生涯学習課 (TEL 32-5535)



税金

町税の納付は安全で便利な口座振替をお勧めします。安全で便利な振替納税を！

今やキャッシュレス時代。振替納税は現金を持ち歩く必要がありません。また、うっかり納税を忘れてしまうこともなく、納税したことが預貯金通帳にも記載されます。

手続きについてのお問い合わせは、金融機関の窓口、または税務課まで。



納期・税率

平成18年度町税などの納期限及び税率

税率及び納期は、次のとおりとなります。税率につきましては、国保税率以外については、旧3町からの変更はありません。(ただし、法改正が伴う場合は、改正される場合があります。)

固定資産税

期別	第1期	第2期	第3期	第4期
納期限	5月31日	7月31日	10月2日	11月30日

町民税

期別	第1期	第2期	第3期	第4期
納期限	6月30日	8月31日	10月31日	12月28日

軽自動車税

期別	第1期
納期限	5月31日

国民健康保険税

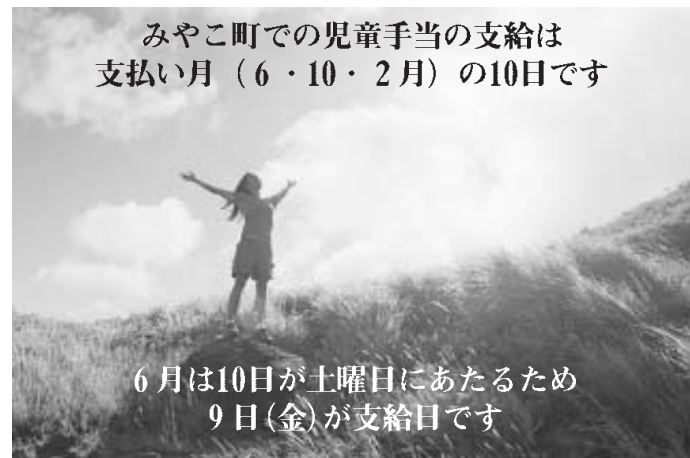
期別	納期限	期別	納期限
第1期	7月31日	第5期	11月30日
第2期	8月31日	第6期	12月28日
第3期	10月2日	第7期	1月31日
第4期	10月31日	第8期	2月28日

国民健康保険税率

期別	医療分	介護分
所得割	9.5%	1.5%
資産割	25.0%	5.0%
均等割	26,000円	7,000円
平等割	27,000円	4,000円

旧勝山町、旧豊津町での軽自動車税を納税されていた方の車検継続について(平成18年5月中に車検を受ける方)

旧勝山町、旧豊津町の納税者の方につきましては、それぞれの軽自動車税の納期限は5月30日、4月末日となっていました。合併に伴い5月31日に変わります。また、旧勝山町、旧豊津町の平成17年度軽自動車税納税証明書(継続検査用)の有効期限は、平成18年5月29日、平成18年5月1日までと表示されていますが、合併に伴う特例として平成18年5月30日まで使用できることとなりました。(旧犀川町の納税者の方は、変更ありません。)



児童手当が変わります

平成18年4月1日から児童手当制度が拡充されます。支給対象年齢が、これまでの小学校3年生まで(9歳到達後最初の3月31日まで)から、小学校6年生(12歳到達後最初の3月31日まで)に拡大され、併せて所得制限が引き上げられます。

また、平成18年9月30日まで受け付けた方に限り、4月1日までさかのぼって支給されます。①平成18年度に小学校4年生の児童(平成8年4月2日生)平成9年4月1日生がいる保護者。これまで、当該児童に係る児童手当を受給していた保護者の方は、特段の手続きをする必要はありません。②平成18年度に小学校5年生または6年生の児童(平成6年4月2日生)平成8年4月1日生(これまで、児童手当を受給していない保護者のみ)がいる保護者。

ていない保護者の方は認定請求、児童手当を受給していただく必要になります。③所得制限によって児童手当を受給していない保護者。今回の所得制限の引き上げによって、新たに児童手当を受給できる場合がありますので、該当する保護者の方は、認定請求の手続きが必要になります。認定請求に必要なもの：健康保険被保険者証・印鑑・申請者名義の通帳・所得証明書(平成17年1月1日にみやこ町に住所がない方のみ)

所得制限限度額		
扶養親族等の数	国民年金加入者	厚生年金加入者
0人	460万円	532万円
1人	498万円	570万円
2人	536万円	608万円
3人	574万円	646万円
4人	612万円	684万円
5人	650万円	722万円

- ①扶養親族等の数が6人以上の場合は、一人につき38万円加算した額になります。
- ②所得税法に規定する老人控除対象配偶者または老人扶養親族がある方については、限度額が変わりますのでお問い合わせください。

お問い合わせ先

みやこ町役場福祉課国保年金係 ☎32-2510
犀川支所福祉課 ☎42-0151
豊津支所福祉課 ☎33-3111

国民年金保険料額が改定されます

平成18年4月分から平成19年3月分までの国民年金保険料は、月280円引き上げられ、月額1万3千8百60円となります。

障害基礎年金と老齢厚生年金等を併せて受給できるようになります

これまで、障害基礎年金の受給者は老齢厚生年金または遺族厚生年金と同時に受給することはできませんでした。平成18年度から、65歳以上の方で、「障害基礎年金」と老齢厚生年金や「障害基礎年金」と遺族厚生年金の組み合わせで年金を受給することができるようになります。詳しい内容や手続きについては、ねんきんダイヤル(☎0570・07・1163)または小倉南社会保険事務所(☎093・471・886)までお問い合わせください。

国民年金の学生納付特例制度は毎年申請が必要です

学生納付特例の承認期間は4月から翌年3月までです。前年度に承認を受けている方でも、4月から引き続き学生納付特例を受けるためには再度申請が必要です。

学生納付特例の承認を受けると、特例期間中に障害や死亡といった不慮の事態が起った場合に、障害年金や遺族年金が支給されます。

手続に必要なもの：学生証もしくは在学証明書(コピーでも可)／印鑑(本人の場合は不要)

お問い合わせ先

福祉課国保年金係 ☎32・2510
犀川支所福祉課 ☎42・0151
豊津支所福祉課 ☎33・3111

図書館のご案内



映画会

14時から 中央図書館視聴覚室
 5月14日(日)
 「チェイシング★リパティ」
 主演/マンディ・ムーア
 5月28日(日)
 「世界めいさく童話」
 (シンデレラ、マツ子売りの少女、にんぎょ姫、白雪姫、赤い靴)

休館日のお知らせ (全館共通)
 5月1日(月)/3日(水)/4日(木)/5日(金)/8日(月)/15日(月)/22日(月)/29日(月)/31日(月)
 6月5日(月)/12日(月)/19日(月)/26日(月)/30日(金)



中央図書館 TEL33-1040

おはなし会

楽しいおはなしをたくさん用意しています。ご家族そろって、おこしください。

中央図書館 (豊津図書館)

毎週土曜日 15時から

絵本の読み聞かせや簡単な工作をします。

5月27日(土)は「紙芝居のひろば おひさまの会」によるおはなし会です。

勝山図書館

(1才から3才くらい対象)

第1・第3金曜日 10時30分から

赤ちゃん絵本の読み聞かせを中心にわらべうたや手遊びも楽しめます。

(4才くらいから小学校低学年対象)

毎週土曜日 14時30分から

絵本の読み聞かせ、ストーリーテリング、紙芝居、手遊びをします。

犀川図書館

5月27日(土) 14時から

絵本の読み聞かせや簡単な工作をします。

※5月5日は、犀川図書館で「子ども読書まつり」を行います。

この日は犀川図書館のみ10時から17時まで開館します。

ギャラリー情報

5月2日~5月30日 中央図書館ギャラリー

「有馬輝美 遺作展」

旧勝山町宮原出身の有馬輝美さん(故人)、有馬美和子さんご夫妻の作品を伊勢本周三さん(行橋市在住)の写真で紹介します。

懐かしい昭和の農村風景が木工細工でよみがえります。



勝山図書館 TEL32-3455 犀川図書館 TEL42-3330

今 後、急増する団塊の世代が前期高齢者(65歳から75歳まで)の仲間にはいる2015年のみやこ町の高齢化率は34%になる見通しです。これは今の犀川地区の高齢化率に匹敵します。

戦後のベビーブーム世代が、65歳になりきる年代がちょうど2015年に当たり、社会構造上様々な課題が引き起こされるとされています。現役を退いた人の増加、年金受給者の増加、高齢者のひとり暮らしの増加など、これから時代は大きく変化します。

町も合併でスリム化、この21世紀の大きな課題である少子高齢社会をどう乗り切るか、この行方は、これまでと違った意識改革が必要です。医療、年金、介護などの社会保障は、赤字財政に転じ、その制度が崩れようとしています。

医療や介護を要する原因とな



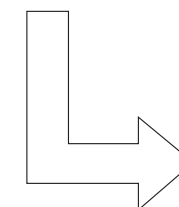
多くは肥満症、高血圧症、糖尿病、高脂血症などの生活習慣病による心筋梗塞、脳梗塞、認知症によるものが多くを占めています。

どの病気も予防は可能です。特に生活習慣病は長い間の偏った食生活や運動不足などの好ましくない生活からくる病気で、しかし、自らをコントロールし、遅らせることができる予防効果の大きい病気です。

- ① 自身の健康状態を正確に把握し、理解する。
 - ② 病気がかからないような健康生活を送る。
 - ③ 病気や障害を抱えたとしてもそれを悪化させない生活習慣を実践し、前向きに生き甲斐を持つて生活をする。
 - ④ 健康づくりに取り組めるような環境づくりにする。
- そして新しい時代の家族の一員として、また町民の一員として、その意義と責任という視点でとらえて頂きたいと思えます。

【みやこ町人口と高齢化率の将来の推計】

	将来推計			
	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
総人口(人)	23,594	23,303	23,012	22,721
高齢者人口：65歳以上(人)	6,142	6,248	6,343	6,456
総人口比(高齢化率)	26.0%	26.8%	27.6%	28.4%



	平成26年度
総人口	21,058
高齢者人口：65歳以上	7,162
総人口比(高齢化率)	34.0%

生涯現役をめざして変身

みなさんの意識改革が不可欠!!

健康づくり課
健康づくり係

暮らしの電話帳

総務課
議会事務局
企画調整課
財政課
人権政策課
監査事務局
……☎32-2511
税務課
住民課
福祉課
……☎32-2510
建設課
産業振興課
……☎32-2512
農業委員会
……☎32-2516
会計課
……☎32-2517
伊良原ダム対策課
……☎42-0001
上下水道課
……☎33-3113

サン・グレートみやこ
生涯学習課
……☎32-5535
教務課
……☎32-5540

ゆいの郷
健康づくり課
……☎32-6020
介護保険課
……☎32-8032

犀川支所
……☎42-0001
豊津支所
……☎33-3111
伊良原出張所
……☎43-5111
城井出張所
……☎42-0121
すどりの里
……☎33-5550
いこいの里
……☎42-1000
歴史民俗博物館
……☎33-4666

第2号
編集
みやこ町役場
企画調整課
〒824-0892 京都府
みやこ町勝山上田960
代表：0930-32-2511
FAX：0930-32-4563

人権擁護委員の常駐相談所開設

■福岡法務局行橋支局■

家庭内のもめごとや隣近所とのトラブル、学校や職場でのいじめ、差別など、悩みや困りごと何でも結構です。
相談は無料です。秘密は固く守りますので、「心配な」相談ください。

相談日時 毎週(月・木)金

9時～16時まで(休日を除く)

相談場所 福岡法務局行橋支局

相談室(電話による相談も可)

行橋市大橋2丁目22-110

☎22・0476

相談員 行橋人権擁護委員協議会所属の人権擁護委員

ひとりで悩まずに……

■福岡法務局・福岡人権擁護委員連合会■

▼夫やパートナーからの暴力、職場でのセクシャル・ハラスメントなどの悩みや困りごとについての相談
「女性の人権ホットライン」
☎0570・070・810
(祝祭日を除く(月)から(金)までの8時30分～17時まで)

▼いじめや体罰、子どもの悩みや困りごとについての相談
「子どもの人権110番」
☎0570・070・110
(祝祭日を除く(月)から(金)までの8時30分～17時まで)

人権擁護委員と法務局職員が、無料でご相談に応じます。秘密は厳守されますので、お気軽にご相談ください。

お問い合わせ先 福岡法務局・福岡人権擁護委員連合会

☎092・721・9166

水道指定工事の指定について

■上下水道課■

受付期間 随時

登録資格 ①給水装置工事主任技術者を1人以上専属雇用していること。②工事に必要な機械器具を有していること。

受付場所 豊津支所 上下水道課業務係

※手数料が必要となります。

お問い合わせ先 上下水道課業務係

まだまだよい歯のコンクール

■行橋市・京都府内の各歯科医院■

応募資格 80才以上で自分の歯が20本以上残っている方

締切日 5月9日(火)

応募場所 行橋・京都府の各歯科医院・行橋京都休日・夜間急患センター

表彰式 6月4日(日)

歯に関する標語募集

■京都歯科医師会■

内容 歯の健康に関するもの

応募方法 官製はがきに5点まで記入の上、住所、氏名、年齢、性別、電話番号をお書きください。

応募先 〒824-0003-1 行橋市西宮市5丁目1-5 京都歯科医師会「標語」係

締切日 5月9日(火)

表彰式 6月4日(日)

診療時間のお知らせ

■行橋京都休日・夜間急患センター■

行橋京都休日・夜間急患センターから5月連休(3日～5日まで)の診療時間について、お知らせ

※17年度女性学級生だった方も改めてお申し込みください。
※学級生になった方は、保険加入をお願いします。
年間(6月～来年3月まで)500円です。(スポーツ関係は千500円)

不正大麻・けし撲滅運動
■京築保健福祉環境事務所■
奇麗なけしの花を見かける季節になりましたが、けしには植えて

せします。
5月3日(水)、4日(木)までは通常通り行いますが、5日(金)の診療については、次のとおりとなります。

内科 9時～18時まで

19時30分～翌6時まで

小児科 9時～18時まで

19時30分～23時まで

歯科 9時～18時まで

お問い合わせ先 行橋京都休日・夜間急患センター ☎26・1399

交通共済について

■総務課■

平成18年9月30日(土)までは、旧豊津町、旧犀川町で、65歳以上の方の掛け金を町が負担していましたが、みやこ町では公費負担を廃止することとなっています。次回更新時には、すべて個人負担となりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

お問い合わせ先 総務課

車両運転体験 参加者募集

■平成筑豊鉄道■

平成筑豊鉄道の車両の運転席に座って、金田駅構内の約150mを往復運転する企画です。

次の日程で開催します。みなさんの参加をお待ちしています。



日程 5・6・9・10・11月の第4日

開催場所 金田駅構内6番線150m区間

参加資格 中学生以上

参加費 5千円(昼食付)

お問い合わせ先 平成筑豊鉄道営業部「車両運転体験」係

☎0947・222・10000

(平日9時～17時まで)

ふれあいスポーツ教室 参加者募集

■生涯学習課■

学校の週休2日制をふまえ、子どもの居場所作りを目的に、年間を通じて第一(出)5月のみ第二(土曜日)に、スポーツ教室を実施しています。(卓球・バドミントン・その他)子どもさんも、大人の方も気軽に参加してください。用具は準備しています。

指導 別府喜美枝さん(日本卓球協会公認審判員)、体育指導委員

対象者 小・中学生をはじめ地域の方どなたでも

場所 みやこ町勝山体育館

時間 9時30分～11時30分まで

……☎32-2510

農用地利用集積(農地の貸し借り) 申請受付について

みやこ町では農用地利用集積による農地の一定期間の賃借の申請を受け付けています。

申請を必要とする方は、受付を年4回、次のとおり行いますので遅れないように手続きをしてください。

なお、申請の書類はみやこ町役場産業振興課、犀川支所産業建設課、豊津支所産業建設課に準備していますので、貸し手と借り手の連名で作成し、提出してください。

受付期間

- 5月1日～5月31日まで受付
6月の農業委員会にて審査
- 9月1日～9月30日まで受付
10月の農業委員会にて審査
- 1月4日～1月31日まで受付
2月の農業委員会にて審査
- 3月1日～3月31日まで受付
4月の農業委員会にて審査



自動車税納期のお知らせ
■北九州東県事務所■
5月31日(水)は自動車税の納期限です。

自動車税などの県税は、教育、福祉の充実、産業の振興、道路の整備などの貴重な財源となります。

車をお持ちのみなさん、自動車税は5月31日(水)までに、お忘れなく最寄りの金融機関、郵便局、指定のコンビニエンスストア、県税事務所の窓口で納めてください。

お問い合わせ先 福岡県北九州東県事務所 自動車税係

☎093・592・3501

密輸情報提供のお願い
■門司税関河田出張所■
門司税関では5月1日(月)から5月31日(水)までの1か月間を『薬物及び銃器取締強化期間』と定め、密輸に対する厳重な取締を実施しています。

通報先 ☎093・436・1458

みやこ町女性学級生を募集

■生涯学習課■

対象者 みやこ町に在住もしくは在勤の方(年齢は問いません)

開設期間 6月～来年3月まで

参加費 無料(ただし、実習材料代などは個人負担)

受付期間 5月19日(金)まで

寺 坊守)
※年間の学習会の月日、内容、講師などについては開級式のときにお知らせします。

お申し込み・お問い合わせ先 教育委員会 生涯学習課

行橋・京都少年の船
■行橋・京都少年の船実行委員会■

期間 8月12日～8月17日まで

研修内容 船内での各種研修、沖縄本島での参観活動(文化・自然体験)、平和学習、海洋研修

募集期間 5月1日～5月31日まで。定員になり次第締め切りします。また、参加者少数の場合、中止することがあります。

募集人員 100人(各市町の配分人数あり)

講師 大友幸子さん(直方市光福

……☎33-4666

今月のカレンダー

(5月1日～6月7日まで)

5月	ふるさと春祭り
2日	前夜祭 豊津公民館
3日	本祭り 豊津グラウンド
10日	1歳半・3歳児健診 (8時～)
11日	1歳半・3歳児健診 (豊津)
12日	BCG(犀川)
12日	生立八幡神幸祭
13日	・お潮井採り(12日) ・お下り(13日) ・お上り(14日)
13日～14日	胸の観音寺春季大祭
17日	ひまわり教室(豊津)
18日	乳児健診(勝山)
19日	乳児健診(犀川)
24日	ひまわり教室(豊津)
25日	1歳半・3歳児健診 (犀川)
26日	乳児健診(豊津)
31日	ひまわり教室(豊津) 固定資産税第1期納期 軽自動車税納期
6月	歯の健康フェア (ウイズ行橋)
7日	ひまわり教室(豊津)

お詫びと訂正

京都地域3町合併協議会だより(最終号)でお知らせした内容について、一部に変更がありました。

各健診	対象	方法	時期	場所	自己負担
基本健診 肝 炎 前立腺がん	勝山地区及び集団健診の漏れ者	個別健診	8～10月	勝山地区内の指定医療機関	無 料
基本健診 肝 炎 前立腺がん	犀川、豊津地区	集団検診	7～8月	犀川地区 3か所	
眼底検査 胃 が ん 大 腸 が ん 肺 が ん 結 核 乳 が ん 歯 周 病	みやこ町全域		10～11月	豊津地区 2か所	
		勝山地区 1か所			

*2000円

*歯周病健診については、70歳以上は無料です。

4 ページ左上段「消防団の組織」
 《誤》【消防組織】 分団長 1名 【組織図】 勝山方面隊 3分団20部
 《正》【消防組織】 分団長 11名 【組織図】 勝山方面隊 3分団21部

5 ページ右中段「地区集会施設補助事業」
 《誤》【補助事業の対象】
 1 補助金は、次に掲げる事業に対して交付するものとする。
 (1) 集会所等を増改築しようとするもの
 (2) 集会所等を補修しようとするもの
 【補助金の算定】
 2 補助金の額は、当該年度に定められた予算の範囲内で、次の各号により算出した金額とする。
 (1) 前条の第1号の事業については、工事請負確定額の50%以内とし、最高限度額は500万円とする
 (2) 前条の第2号の事業については、工事請負確定額の50%以内とし、最高限度額は300万円とする
 新築については、補助事業を活用し地元負担金等は徴していない。ただし、用地に関しては、地元より提供。

ガイドブック13ページ

《誤》	電気工事登録業者の登録	先の登録を受けている方	要	合併後、30日以内に住所変更の手続きを行って下さい。
《正》	電気工事登録業者の登録	先の登録を受けている方	不要	合併に伴う住所の変更手続きは必要ありません。

21ページ

上下水道	簡易水道 専用水道	勝山区域	H19.3.31まで	一般用	超過料金 (1㎡毎)	<u>130円</u>
			H20.3.31まで		超過料金 (1㎡毎)	<u>160円</u>

ガイドブックには、別途消費税が必要と掲載していましたが、正しくは消費税を必要としません。

広報みやこ 4月号で掲載していた内容に誤りがありましたので、次のとおり訂正してお詫びします。
 (誤)みやこ町長職務代理執行者→(正)みやこ町長職務執行者
 (誤)みやこ町民族博物館→(正)みやこ町歴史民俗博物館
 (誤)第1保育所→(正)黒田保育所
 (誤)第2保育所→(正)久保保育所
 (誤)第3保育所→(正)諫山保育所
 (誤)渡辺 敏之→(正)渡辺 敏行
 (誤)環境保全係 白川 茂久→(正)福岡県土木部高速道路対策室東九州自動車道建設推進行橋チーム 白川 茂久

犬の集団予防注射実施時間
 (誤)旧豊津町緑ヶ丘消防車庫 10時～10時45分→(正)旧豊津町緑ヶ丘消防車庫 11時～11時45分
 追加 犀川保育所 林田 史江子、介護保険課 倉谷 博之

参加費 ①小学生 7万5千円
 ②中学生 7万9千円(事前事後研修費含む) *別にユニフォーム代や写真など等の個人的な費用が必要です。
参加資格 ①行橋市、京都郡に居住している小学4年生から中学3年生まで(事前・事後に行う研修にも参加可能な方) ②団体行動に耐えられること。
お申し込み・お問い合わせ先
 行橋市中央公民館内 行橋京都少年の船実行委員会(☎22・3911) もしくは教育委員会生涯学習課

「チャレンジデー2006」参加者募集

健康スポーツ・デーとして「チャレンジデー」を実施します。今回は、みやこ町豊津地域のスポーツ施設や広場、道路などでの実施と限定されますが、町民総参加を目指しています。対戦相手は、長崎県「西海市西彼町地区」に決定し、人口に対する参加者率で勝敗を競います。
 5月31日(水)0時から21時まで、15分以上継続して運動を実施した方を対象とします。ラジオ体操や散歩もOKです。さまざまなイベントも行う予定ですので多くの参加者を募集します。
お問い合わせ先 チャレンジデー実行委員会

奨学生を募集します
 実行委員会本部 ☎33・2279
 ■教務課
 みやこ町では次の方に奨学金の貸し付けを行います。
奨学生の資格
 ①みやこ町に3年以上住所を有する方の子弟②高等学校、高等専門学校、大学、大学院、専修学校に在学し経済的理由によって就学困難である人③同種の奨学金の貸し付けを受けていない人
貸付金額
 ・公立高校生 1万2千円以内
 ・私立高校生、専修学校生 1人月額 2万5千円以内
 ・大学、短期大学、専修学校専門課程及び高等専門学校4年以上の人 1人月額 3万円以内
貸付期間 資金の貸付期間は、奨学生在学する学校の正規の修業期間とする。大学院の奨学生は、貸付期間は、前項の規定にかかわらず入学年からの2年を限度とする。
申し込み期限 5月26日(金)
お問い合わせ先 教育委員会教務課 ☎32・5540



**みやこ町総合観光案内所
ギャラリー案内**
 5月2日～5月7日まで 犬塚英子さん(陶芸展)
 5月9日～5月21日まで 山田ユキさん(皮工芸展)
 5月24日～6月4日まで 瀬口恵一さん(絵画展)
 6月6日～6月18日まで 豊津文化協会(水墨画展)

平成18年度建設工事等の入札参加資格申請について
 ■財政課
対象者 ①建設工事請負業者
 ②測量及び設計など
受付期間及び受付時間
 6月1日～6月30日まで(土曜、日曜及び祝祭日は除く)
 9時～16時まで(11時30分～13時30分を除く)
お問い合わせ先 財政課 管財係
 〒824-1089 京都府みやこ町勝山上田960番地
 ☎32・2511
 なお、みやこ町ホームページでもご確認頂けます。

相談会のご案内
 行政相談(5月)
犀川地域
 5月19日(金) 13時～16時まで
場所 本庄地区学習等供用施設(旧犀川町文化会館)
豊津地域
 5月25日(木) 13時30分～16時まで
場所 隣保館
勝山地域
 5月8日(月)、22日(月) 13時～15時まで
場所 サン・グレートみやこ
補聴器相談
 5月9日(火)、16日(火)、23日(火) 13時30分～14時30分まで
 ただし、9日は13時から14時まで
場所 みやこ町役場(本庁) 1階 101会議室

お問い合わせ先
 みやこ町総合観光案内所
 みやこ町豊津80番地 ☎33-5771

みやこの話題

HAPPY BIRTHDAY



平成17年5月4日生
ひゅうが
和田日向ちゃん(勝山)



平成17年5月5日生
まなと
水上眞斗ちゃん(豊津)



平成17年5月11日生
りあん
高辻璃杏ちゃん(豊津)



平成17年5月18日生
ことの
福森琴乃ちゃん(勝山)



平成17年5月31日生
坂井さくらちゃん(勝山)

このコーナーでは、発行月に1歳のお誕生日を迎える子を掲載しています。掲載の対象者は4月1日現在の住民基本台帳を基に抽出しています。

まちの宝をつくりだす

豊津町営農生産組合(組合長 岩本春樹さん)が福岡県の代表として、平成18年度豊かな村づくりの優良事例として推薦されました。この推薦は5月中旬に九州農政局で審査されます。岩本さんら組合員の方々は「豊津の農業は俺たちが支えている」との気合いを込めて農業に取り組んでいます。



人権を守るために

—新たな人権擁護委員さんが決定—

平成18年4月1日付けで人権擁護委員の田中朝子さん(豊津)が任期満了に伴い、3期9年間の人権擁護委員としての功績をたたえられ、法務大臣表彰を受けました。また、平成18年4月1日付けでみやこ町人権擁護委員に浦田農二男さん(勝山大久保)が法務大臣から委嘱されました。



獅子に噛まれて無病息災

—大原八幡神社 獅子舞—

4月1日、大原八幡神社(上久保)では神幸祭が行われ、獅子舞が奉納されました。

雄獅子と雌獅子の二頭が舞う、その姿は勇壮であると同時に春の訪れを私たちに教えてくれます。

獅子に噛んでもらうと無病息災になると伝えられているため、獅子舞が終わると詰めかけた観客たちが多くの列をなしました。



交通安全で表彰

—地域の交通安全を推進—

4月4日、福岡県警察本部長と地域安全協会会長から久松光雄さん(勝山大久保)が表彰を受けました。

これは、久松さんが地域交通安全活動推進委員として交通安全活動に積極的に活動したことが評価されたためです。



▲賞状を手にする久松光雄さん(左)

元気に仲良く

—勝山児童クラブ入所式—

4月10日、勝山児童クラブの平成18年度入所式が行われました。

勝山地区3小学校の1年生から3年生までのうち51人が入所し、名前を呼ばれると元気な声で返事をしていました。

式では梅本正みやこ町長職務執行者が「しっかりあいさつをすること、そして、友達とけんかをせず仲良くしましょう」と挨拶。

同クラブは特別養護老人ホーム・勝山苑に隣接する地域交流センターで活動しており、児童と高齢者の交流の場にもなっています。



直売所でみやこ町をPR

—小倉城桜まつりに参加—

3月25、26日の両日に第2回小倉城桜まつりが小倉城天守閣前広場で開催されました。このイベントのふるさと物産展に四季犀館と国府の郷が出展し、地域の特産品をPRしていました。

国府の郷の林綾美さんは「初めて、参加したのですが、豊津のいちごなどを多くの方々にPR出来ました」と満足そうに語りました。

二日目の午前中に雨が少し降りましたが、午後からは晴れ間が広がり、桜の開花には若干早いようでしたが、多くの人で賑わいました。



歴史や文化を通じて

—おむくの子守唄—

4月2日、犀川帆柱にある史跡「おむくの墓」と国の重要文化財である永沼家住宅で犀川少年少女合唱団の現地研修が行われました。

同団は2年前に江戸時代から伝わる哀歌「おむくの子守唄」を数十年ぶりに復元しました。

以来、その作業に当たってご縁を頂いた方々とともに、団員の研修として唄ゆかりのおむくの墓や永沼家を訪ねて、唄にまつわる歴史や文化についての理解を深めるよう努めています。

ぼくも歩いたよ

—仲哀さくらウォーク—

4月2日に行われた第6回仲哀さくらウォーク。昼食の直前まで、雨が今にも降り出しそうな空模様でした。しかし昼食中に突如、雷雨に見舞われました。

ふれあい協会最後のイベントでしたが、記憶に残る思い出になったのではないのでしょうか。



特集 もの語る みやこの国

その昔、鎮守の森に栗の鉦かねの音や祭りを楽しむ子どもたちの声が響き渡った。

その賑やかな音は神幸祭の到来を告げた。大事に握りしめた小遣いを手に子どもたちが露店の立ち並ぶ神社へと駆けて行く光景は初夏の風物詩でもあった。

しかし、時代が昭和の高度経済成長期に入ると、農山村の若い働き手が雇用の場を都市部へ求め、生活の場を農山村から都市へと移し始めた。

それに伴い集落の過疎化は潮が引くかのように進行し、神幸祭の楽しみでもある楽の舞手の都合がつかない集落も発生した。

その結果、昭和四十年代、町内にあった数々の伝統芸能が断絶し、関係者は悔しさを噛みしめた。

今月は、その断絶した伝統芸能の復興に情熱を傾けた人物やその伝統芸能を必死に守ろうとする方に取材をした。



大原八幡神社の御先鬼・お神輿・山車 〈昭和30年代〉
勝山町史 〈下巻〉 から



蛇淵（犀川帆柱）

伊良原の庄屋永沼家に、ある夜ひそかに訪ねてきた水もしたたるような美人があった。年の頃は17、8と思われ、握り飯を作って貰いたいという。事情を聞くと「私はこの蛇淵に住む大蛇であるが、淵は水が枯れて到底身を隠すことも出来ないの、耶馬溪の蛇淵に移り住みたい。ついでには道も遠いので、夜食を持って行きたい」とのこと。庄屋は握り飯を娘に与えて旅立たせた。

それ以後、蛇淵の水は枯れて、下流の祓川はもとのような水量がなくなったといわれる。

お抱え地藏（光富）

戦国時代、光富に「ほっけん寺」という寺があった。この近辺一帯は戦場となり、豊後の大友宗麟の手によって、村中一軒残らず焼かれてしまった。

焼け落ちたお寺の跡には、たくさんの石造の仏像が転がっていて、風にさらされていた。その仏像を不憫に思った村人たちはお堂を建てて仏像を安置することにした。この中の一体に人一人がやっと抱え上げられるほどの小さな地藏さんがあった。

この地藏さんを抱え上げられることが出来れば、願い事が叶えられるというので、いつしか「お抱え地藏」と呼ばれるようになった。



歴史深き みやこの国に伝わる 数々の伝説



胸の観音（勝山黒田）
昔、この地方に干ばつが襲い、水が枯れ田畑は乾ききってしまつた。この地方を治める延永長者は「これは小松ヶ池に住む龍神のたたり」と考え、龍神の怒りを解くための祈願をした。そして「雨をお恵みくだされば、三人娘の一人を差し上げます」と約束をした。すると、雷を伴つた大雨が降り、田には水があふれて百姓たちを喜ばせた。

ただ、一人、娘を差し出す約束を破ってしまった長者だけは心痛で床に臥してしまふ。娘たちが訳を尋ねると、長者は龍神との約束のことを話し始めた。それを聞いた二人の姉は泣き崩れてしまった。父の心情を気遣つた末娘が人身御供となり、乳母と小松ヶ池に向かうことを承知した。小松ヶ池に着いた娘は戌亥の方向に構えられた高棚で法華経を読み始める。一卷読

神々々の世から人の世となつて間もないはるか昔、妊娠中の身でありながら亡き夫に代わつて政務を執り、国難にあつて大軍を指揮した神功皇后は、神々の守護によって戦うことなく抗う国々を従えることができた。
凱旋した皇后は、筑前宇美で無事皇子・誉田皇子（のちの応神天皇）を出産。しばらくの休養ののち犀川の地を経由して大和へ帰ろうとし、犀川大村の今川河畔で休憩を取つた。このとき牛後間もない皇子が、傍らにあった二つの石をたよりに立ち上がるという奇跡を起こした。これを見た皇后は「まあ！わが皇子が早や牛立立つとは!!」



と思わず声を上げ驚きかつ喜んだ。そして「この瑞祥（めでたい出来事）はこの地の神が我々と国の行く末を祝福しておられる証である。お礼にこゝへ社を建て、この神を末永くお祀りせよ」と人々に言い渡し、旅立たれた。
ゆらいこの地には犀川の地と国の平安を祈る神社が建てられ、社の名はこの奇跡にちなみ牛立宮と呼ばれた。そして皇子が立ち上がった記念の地は立屋敷と呼ばれ、ここには皇子が「生い立ち」の支えとした石が「二子石」として今に伝えられている。（『京都郡誌』所収「生立八幡神社由緒」より）



↑行橋市 入覚念仏楽

由来については明らかではないが、楽打ちの鉦に1791（寛政三）年という文字が読み取れることから、1792（寛政四）年には始まっていたと推定されている。由来として寛政元（1789・己酉）年に願を起し7月6、7日に山車、神輿、神楽、連歌、角力、楽打、流鏝馬、御先鬼を執行したとも伝わる。第二次大戦を機に中断。昭和47年に地域有志によって再興された。



↑築上郡築上町 安武楽

満田神社は、南北朝時代に後醍醐天皇の皇子、懐良親王と共に下向した新田氏の家臣、満田四郎が明徳年間（1390～1393）に八幡宮を勧進したと伝わる。安武楽は、1663（寛文三）年に築造された大西池（松丸村）の水利安全と飢饉疫病退散を祈願して、地元の氏子が宇佐地方の念仏楽を習い、神幸祭の時に奉納したのが始まりといわれている。



さあ皆よ、舞え。五穀豊穡、天下太平を願って



↑行橋市 検地楽

検地楽は昔から、5月3日と4日の春の神幸祭にその地区の氏神様やその他の山の神、水の神、豊前坊（英彦山）など諸所の神に奉納されている。この楽打ちは平安末期にはすでにあつたと推定されている。豊前地方では「楽打ち」と呼ばれ、今日に伝わる。検地地区に伝わったのは、約300年前といわれる。鶏の羽根の由来は定かではない。



↑築上郡築上町 高塚楽打

菅原道真が太宰府に左遷される航海中、暴風雨に遭い椎田の浜に着いた。漁師がその人を高貴な方と見て、船を繋ぎ留める綱を輪状に巻いて敷物を作り差し出した。この時「楽」を見せてもてなしたのが高塚楽打の始めと伝わる。

←築上郡築上町 岩戸楽

岩戸見神社は、鎌倉時代に鎮西御家人宇都宮氏の氏神として祀られ、のちに城井谷十一村の郷社として信仰を集めてきた。以来800有余年、祭礼に神楽奉納と同時に岩戸楽が奉納されたと伝えられる。



楽打

豊前市 感応楽

この楽は天地感応楽ともまたは、豊前一国に限るという意味で国楽とも記されている。大富神社所蔵の旧記を見ると、天平十三年（738）に始まり二年間行った後、延宝五年（1677）まで中断していたが、その後は今日まで継続されている。また一説にこの楽は人皇四十二代文武天皇の御代、大干ばつが続いて疫病、悪病が流行したので、四郎丸の人々が悪疫退散、五穀豊穡を宗像八幡に祈り丁酉（697年）6月29日に初めて国楽を奏したともいわれている。



豊前市 豊前楽

豊前楽は角田八幡神社に伝わる国楽芸能で、社伝によれば864（貞観六）年から始まったといわれている。春の大祭に奉納されてきたが、昭和四十八年の保存会結成後、二年に一度の奉納となり、それまでは青年男子の楽打ちであったが、時代の流れとともに子どもが参加するようになった。

楽 打ちの歴史は古く、遠く平安時代末頃までにはさかのぼり、地方寺院内にて行われていた延年舞の名残であるという説がある。この寺院芸能は鎌倉、室町時代に最も栄え、能楽にも影響を与えたといわれている。福岡県や大分県では楽または楽打ちと呼ばれるが、宮崎県や熊本県南部では白太鼓、鹿児島県薩摩地方では太鼓踊りまたは楽について紹介する。輪太鼓踊り、長崎県や佐賀県では浮立と呼ばれ、各地域でこの伝統芸能が継承されてきた。呼び名は各地域で異なるものの、五穀豊穡・雨乞い・天下太平を祈願して踊るなど祭りの日的には、ほぼ同一のものであった。この楽の発祥には、各地域で様々な説がある。みやこ町の楽は先のページに譲るとして、まずは行橋市、築上町、豊前市の楽について紹介する。

山王楽



↑熊谷克啓さん（国分）
「戦時中にはカーテン生地で袴を作ってくれたよ」と懐かしそうに当時を振り返る。

奉納
日時 5月2日 16時から 5月3日 15時から
場所 豊津神社及びお旅所



寛文七年（1667）八月、熊谷太郎右衛門ほか十一人が願主となって比叡山鎮座の山王宮（おみやま）大山咋命の分霊を産土神社内に合祀。明治三年、小笠原忠愍公が豊津に移転し、豊津神社と名称を改めた。この豊津神社に祀る七神の神々に奉納するのが山王楽である。

戦争中は物が無くてね、今のような衣装は作れませんでした。

昭

和六年から昭和四十三年までは、楽が中断した。旧豊津町の文化協会に所属し、会長をしていた熊谷和彦さん。

啓さんは「戦争があつたりして若い舞手がいなかったからではないだろうか」と語る。一度、途切れた糸は元に戻らない。それと同じように、一度中断したね」と語る。

した伝統芸能の復興には、心血注ぎ込まないと日の日を見ない。その復興に力を注いだ人がいた。故熊谷和彦さん。

昭和四十四年、神楽などの伝統芸能が一時他の地域でも中断していたが、郷土の伝統芸能を見直そうと各地域で復興の狼煙（のゑ）が上がり始めた時であった。

高

度経済成長。戦後からの復興がほぼ終わり日本ありとあらゆる分野が成長期に突入し、日本全体が活気を帯びた。しかし、日本全国の農山村では大切な何かが失われようとしていた。伝統芸能の断絶、その波は全国各地に波及し、ついに昭和四十七年黒田では、後継者育成を楽しみにしていた楽師匠たちはその機会を奪われた。黒田鶏楽中断。関係者は思いもよらぬ事態に直面し、狼狽した。

復興への経緯

昭和五十三年、吉武順一郎さんは商工会青年部長となった。ちょうどその年に、小倉南カントリークラブ（現チエリーGC小倉南コース）の落成を迎えようとする時期であった。当時の社長から「落成式には縁起のいい郷土芸能をひとつ舞ってください」と相談を持ちかけられた。しかし、この時は黒田鶏楽が中断して六年日。

いつ復興するとも知れないこの時期に快く返事をする事などできなかつた。しかし、この相談が吉武さんを楽打ち復興へ向け、本気にさせた。「黒田のために楽を残したい」と。

楽が無くなるのが寂しくて。復興のため一肌脱ぎました。

鶏楽



↑吉武順一郎さん（勝山黒田）
商工会青年部長時に中断した鶏楽の復興活動に力を注ぐ。鶏楽保存会会長を10年勤める。また勝山音頭の作成にも尽力する。

奉納
先日、4月22、23日に黒田天満宮と神事場で鶏楽の奉納が行われた。毎年、4月下旬に奉納される。

鶏楽（勝山黒田）

菅原道真公を祀る黒田天満宮に奉納される鶏楽。元禄九年（1696）の江戸時代初期。当時、この地方で流行した疫病を鎮めるため、「悪疫退散」を祈願して、鶏をまねた舞楽を奉納したのが始まりである。

菅原道真

日本の平安時代の学者。特に漢詩に優れ、現在は学問の神として祀られている。33歳のときに文章博士に任じられるが、その直後、急転して太宰府に左遷され、そこで太宰府へ道中寄つた。資料収集の役を担っている。



復興への活動

古里の自慢の郷土芸能が永遠に途絶えてしまおうとしていることに危機感を募らせた。何とかしたい。しかし、自分ひとりでは事が前に進まない。商工会青年部長であったため、商工会に相談をして、「何とか鶏楽を復活させたい。協力してくれないだろうか」と説得したのできつかけだ。

「そりゃ、大変な労力がかかりましたよ」と懐かしそうに吉武さんは話す。楽師の師匠や昔のことに詳しい古老、そして民俗芸能に詳しい方を何度も何度も訪問して、分らないことは納得するまでその場を離れなかつた。「何せ、資料が無かつたからね。捜すだけでもひと苦労でしたよ。本当に苦労しましたよ」と当時を思い出す。お宮に行けば、古い太鼓などはあった。使える物は率先して使い、古びた衣装などは子どもたちのために新調した。小学生たちを特訓して、見事は、涙を流して喜んだ。

豊国楽



緒方邦弘さん（犀川下伊良原）
豊国楽と50年を超える関係が続く。

氏子が一人になるまでは奉納し続けます。

豊

国楽との付き合いが五十年に及ぶ緒方邦弘さん（犀川下伊良原）。現在、八十歳。二十七歳当時、歌手から始まり三年後には奏楽になった（楽の囃方は、奏楽一人「太鼓役一人、鉦打ち一人」、歌手三人の五人からなる）。

この歌手として初めて練習に参加したとき、声が出なかった。見よう見まねで、声を出すが歌の調子がかみず苦勞をした。豊国楽を習いたいと有志が入門するが、この歌手の練習をするに辞めていく者が大半を占めた。それほど、この歌手の練習は過酷を極め、入門する者を拒んだ。

伝え続ける理由

この豊国楽は享保十七年（1732）、伊良原一帯に疫病がまん延した。この時に上伊良原では弘法相撲に、下伊良原は豊国楽に「氏子が一人になるまで必ず奉納し続けます。ですのうで、どうかこの疫病を鎮めてください」と願いをかけたという。「だからね、この豊国楽は止められないわけです」と緒方さんは目を輝かせながら笑った。しかし、この願かけも豊国楽に関連のない方たちは、同じ地域でもあっても知らないという。体を張って地域の伝統芸能を守ってきた男たちにとって、寂しすぎる現状でもある。

奉納

日時 5月4、5日 13時から
場所 高木神社及びお旅所（犀川下伊良原）



豊国楽（犀川下伊良原）

延享四年（1747）、木山村（現犀川木山）が小倉祇園に奉納される「田町楽」を修得し、同村の生立八幡宮に式願（定例の祈願）として奉納するようになったことが豊国楽の始まりとされる。下伊良原でこの豊国楽が奉納されるようになった経緯は、文久元年（1862）にそれまで生立八幡宮で行われていた式願が楽から山笠に変更されたことに伴い、下伊良原が楽を譲り受け、以後下伊良原高木神社の神幸祭で奉納されるようになった。

もっと知って欲しい
この現状を冷静に受け止め、緒方邦弘さんは「もっと多くの方々にこの豊国楽を見て欲しい」と語る。

以前、行橋市の検地楽、豊前市の感応楽そして犀川の豊国楽は三大楽として、テレビ放送局で収録を行ったという。「もっと対外的にPR活動をすることができれば」と語る。現在、舞手は幼稚園児から中学生まで。舞手の半数は、下伊良原以外の子どもたちだと緒方さんは説明する。理由を尋ねると、「故郷を離れても子どもたちには豊国楽を経験させたい」と遠くから帰郷する人が多いからです」と話す。

資料

伊良原のもう一つの楽 【万葉楽（犀川上伊良原）】

上伊良原高木神社に奉納されるこの楽は、神楽が伝授される以前からあったと伝えられている。上伊良原地区では「家が三軒になるまで続けます」と永年奉納の願をかけているという。打子は演者不足から小・中学生男女が行うが、昭和三十年頃までは、青年がこれにあたり、勇壮な楽舞を披露していた。打子は希望制で特に資格は要しなかった。しかし、定員が決まっていただけに競争もあった。いつから、舞っているかなど詳しいことは不明。



奉納 5月4、5日 14時から
日時 高木神社（犀川下伊良原）・上伊良原公民館
場所

【免許のある豊国楽】

江戸時代に村の代表である庄屋を勤めたことから「元庄屋」の屋号で呼ばれる犀川下伊良原の白川亘さん。こちらのお宅には豊国楽にまつわる古文書（下の写真）が所蔵されている。この古文書は豊国楽の由来と明治元年に発行された楽打譲渡の「免許一札」かなり、巻物に仕立てられている。巻物には「豊国楽之沿革」が記され、伝授に伴い下伊良原

の三人を京都に行かせ、神輿二基と楽道具を買い求めたこと、そしてこれらの経緯を永く忘れないようにと書を認めている。最後には「残らず伝授したので、末代まで相伝・奉納を怠ることのないように」と念押しがされている。

左の写真は、京都に行った三人のうち一人が当時着ていた袴。京都に行くために、礼服として設え、今もなお大事に保管されている。



高尾和彦さん所蔵の袴（犀川下伊良原）

白川亘さん所蔵の古文書





5月は国際交流イベントが盛りだくさん☆ 是非参加してください！

みやこ町国際交流員ケンのコラム 国際交流のケン



第4回「国際化を考える」エッセイコンテスト

主催：田川・京築地区国際交流連絡協議会（タコ会）

あなたの考え方が必要！ どんどん国際化していく世界と日本についてみなさんの思いを込めた作品を募集します。次の中から好きなテーマについてエッセイを書いてみませんか？ 応募してくれたエッセイの中から最優秀賞と優秀賞を選びます。そして更に、田川・京築の国際交流員たちが各市町の最優秀賞の中から一人のグランプリ受賞者を選びます。豪華なグランプリ賞品を目指して、ご応募ください！

対象者：みやこ町在住または在職・在学の方、小学生から大人まで

応募要領：400字原稿用紙2枚以内（ワードなどのデータ、メールによる提出も可能）

提出文書にお名前、連絡先、学校、学年を書いてください。

賞品：最優秀賞 図書カード5千円分（各部1点）、優秀賞 図書カード2千円分（各部2点）

提出締切：6月9日（金）

提出先・お問い合わせ：みやこ町役場犀川支所総務管理課（☎42-0001）

電子メールによる提出は次のアドレスにご送信ください：ken@town.saigawa.fukuoka.jp

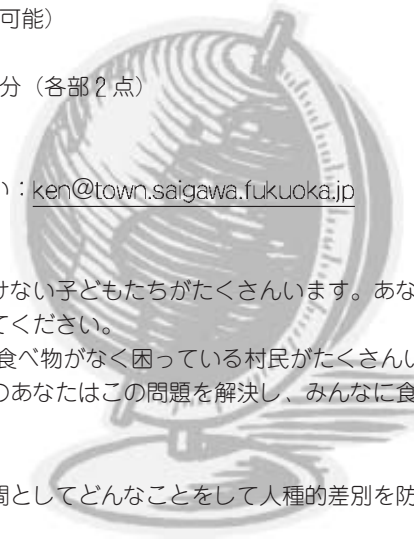
テーマ

小・中学生の部

- ①日本では、学校に行くことは当たり前ですが、外国ではお金がなく学校に行けない子どもたちがたくさんいます。あなたはそういう子どもたちをどういうふうに助けたいと思いますか？ その理由も書いてください。
- ②世界が小さな村であり、あなたがその村の村長になったと想像してください。食べ物がなく困っている村民がたくさんいるのに、好きな食べ物だけを選び、残りを食べずに捨ててしまう村民がいます。村長のあなたはこの問題を解決し、みんなに食べ物が平等に配られるように、どんなことをしますか？ その理由も書いてください。

高校生以上の部

- ①国際化が進んでいる中、人種的差別がまだ起きています。あなたは一人の人間としてどんなことをして人種的差別を防ぐことが出来ると思いますか？ その理由も書いてください。
- ②あなたは自分の地域の国際化を促進する役割を託されたとします。日本に住んでいる数百万人の外国人と日本人との触れ合いを図るために、どんなことをすれば良いと思いますか？ その理由も書いてください。



ふれあいフットサル大会 参加者募集中！

今年6月12日、日本とオーストラリアのサッカー代表がW杯ドイツ大会で対戦します。この歴史的な試合を記念にみやこ町で「ふれあいフットサル大会」を開催します！ 経験や能力を問わず、とにかくフットサルを楽しみながら地域の国際交流員たち（CIR）と異文化交流をしましょう！ どうぞ、気軽にご応募ください。

対象者：みやこ町在住または在職・在学中、小学校5年生以上の方（未満の場合はご相談ください）

日時：6月4日（日）
9時～13時まで

場所：みやこ町犀川体育館

募集人数：40人先着

募集締切：5月29日（月）まで

参加料：300円当日払い（ジュースと保険代）

持ってくる物：運動できる服装、体育館シューズ、防衛道具、タオル、お弁当、お水。ボールやその他の道具をお持ちの方はご持参ください。

お問い合わせ・お申し込み先：みやこ町役場犀川支所総務管理課（☎42-0001）



タイ語と文化の教室☆ 参加者大募集中

タイは日本人観光客に人気のある国の1つです。旅行の役に立つタイ語、そしてタイ人の常識や文化について学び、もっと楽しい旅にしましょう！ タイの一般国民が食べている人気料理の教室も予定しています。

対象者：みやこ町在住または在職・在学の高校生以上の方。
3回とも参加できる方。

とき：タイ語・文化の教室…5月18日（水）・25日（水） 19時～21時まで
タイ料理の教室…5月20日（土） 10時30分～13時30分まで

場所：みやこ町犀川中央公民館（18・25日）
みやこ町犀川保健相談センター（20日）

参加料：500円（料理教室の材料代）

募集締切：5月15日（月）まで **募集人数：**先着20人

お問い合わせ・お申し込み先：みやこ町役場犀川支所総務管理課（☎42-0001）



英会話サークル参加者募集中☆ 参加無料！

ただ今開催中の毎週水曜日英会話教室（募集終了）に加えて、サングレートみやこにて5月16日から英会話サークルを始めます！ 明るい雰囲気の良い英会話サークルなので、どうぞ気軽にご応募ください。

対象：高校生以上のみやこ町在住もしくは在職・在学の方

時期：5月16日～7月5日まで 毎週水曜日（祝日を除く）19時30分～21時まで

場所：サン・グレートみやこ 2階視聴覚室

募集人数：20人先着 **募集締切：**5月12日（金）まで

お問い合わせ・お申し込み先：みやこ町役場犀川支所総務管理課（☎42-0001）

「新版 枕草子（下）付現代語訳 清少納言著、石田穰二注釈、角川ソフィア文庫」より

「**小さきものは、皆うつくし**」
「**籬の調度。蓮の浮葉いと小さきを、**
「**池より取り上げたる。葵のいと小さき。**
「**なにもなにも、小さきものは、皆うつくし**」

平安時代、清少納言は「小さいものはみんなかわいい」と記した。「うつくし」とは現代日本語で「かわいい」の意味。昭和四十年代、高度経済成長を迎えたこの地域では、数ある伝統芸能が廃絶の岐路に立った。しかし、伝統芸能を継承するため古老たちはその思いをこの小さき者たちに託した。そして今では立派に伝統芸能を受け継ぎ、眩しいくらいに輝きを放っている。

平安時代、清少納言は「小さいものはみんなかわいい」と記した。「うつくし」とは現代日本語で「かわいい」の意味。昭和四十年代、高度経済成長を迎えたこの地域では、数ある伝統芸能が廃絶の岐路に立った。しかし、伝統芸能を継承するため古老たちはその思いをこの小さき者たちに託した。そして今では立派に伝統芸能を受け継ぎ、眩しいくらいに輝きを放っている。

今回、特集で取り上げた「楽」をひとつとってもみやこ町内に同様な文化を有することがわかった。京都平野の大半を占めるこの町に共通するものは多々ある。この町には共通する文化が今もなお、受け継がれている。町村合併という時代の流れの中、共通する文化は今も昔も同じなのである。

【香月】



↑山王楽（国分）



↑鶏楽（勝山黒田）



↑豊国楽（犀川下伊良原）

千女房桜

今川沿いに川を包むかのように咲くソメイヨシノは美しく、
県道34号線沿いを通る人々を魅了する。しかし、人知れず
ひっそりと三百年間の時を刻んだ山桜もそれに劣らず美しい。



勝

山宮原に集落を見下ろすようにして一本の山桜がそびえ立つ。

樹高一九尺、幹囲約五尺、樹齢は三百年。名は千女房桜。名前の由来は、この宮原地域の小字名の千女房からきたもの。

観賞用に育てられた一般的なソメイヨシノにはない雄大さを持つ山桜。山桜の規模としては県内屈指の規模である。

障子ヶ岳登山口から三〇〇メートルほど上がった山林の斜面にこの山桜が姿を現す。目の前に現れるこの大きな山桜を目にした者は「ハッ」と息をのむ。

昨年、勝山町史を編纂する際に町内を調査した結果、世間に明るみとなり、一躍脚光を浴びた。



以前は、この千女房桜の周囲には雑木林があり、地元の人もなかなか目にするこすらなかったという。

しかし、マスコミなどで取り上げられ、地元の方たちは保護に向けて行動を起こす。

「何とかこの美しい山桜を多くの方に見てもらいたい。そして、未永く、この地域の宝として残していきたい」と。

「千女房桜を守る会」が発足し周辺の清掃・整備が積極的に行われるようになった。

今年北九州から旅行会社「バスツアー」を企画し、観光バスで多くの見物客が訪れた。

見物に来た方の一人に取材をすると「来て良かった。本当に奇麗ですね」と反応が返ってくる。

「守る会」の人々の千女房に対する熱い思い、そして努力が報われた結果でもある。

南阿蘇村の一心行の夫桜とまではいかないが、みやこ町の一心行として、今後ますます人を魅了して止まないだろう。



航海記

みやこ町のみなさん初めまして。私は、企画調整課地域振興係で広報担当をさせて頂いています。香月宏文です。旧犀川町のみなさん、お久しぶりです。旧犀川で広報担当だった当初、地理的に広い犀川に戸惑ったものですが「みやこ町」は更に広く、まだまだ取材のペイスが掴めていないのが現状です。しかし、みなさんに愛されるような広報紙作りに企画調整課スタッフ一同邁進いたしましたので、どんな些細な情報でも企画調整課までご一報ください。取材時には写真撮影があると思いますが、とびっきりの笑顔をお願いいたします。

【香月】

みやこ町 11,064人 12,353人 総数 23,417人 世帯数 8,569戸 (3月末現在の住基データ)